

インフォメティス、AIによる電力データ分析の提供領域を拡張

～データ取得経路の拡充で、法人向けGX・DX支援を加速～

インフォメティス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:只野 太郎、以下「当社」)は、独自のAI解析技術を用いた電力データ分析において、データ取得経路を拡充し、小売電気事業者経由での取得に依存しない法人需要家向けGX・DX支援体制を構築しました。

一般社団法人電力データ管理協会との連携により、全国の法人需要家を対象に、スマートメーターの30分値データを活用した高度な電力可視化・省エネ分析を提供可能になります。

これにより、従来は小売電気事業者経由でしか活用できなかったAI電力データ分析を、業種・契約先を問わず展開し、企業のGXとDXの同時実現を後押しします。

■ 背景: 実効性のある「戦略的省エネ」への需要拡大

エネルギー価格の高騰や2050年カーボンニュートラル実現に向けた社会的要請により、企業には電力使用を正確に把握し、戦略的にコントロールする術が求められています。しかし、従来の月次データ(検針票)ベースの分析だけでは、具体的な対策立案には限界がありました。当社は、社会インフラである既存スマートメーターから得られる「30分値データ」(以下、「スマートメーターデータ」)を自社のアナリティクス技術と掛け合わせることで、この課題を解決いたします。

■ データ取得経路拡充による「販路拡大」のポイント

これまで、当社のスマートメーターデータ分析サービスは主に、スマートメーターデータを電力料金徴収用に保有する小売電気事業者向けのソリューションとしてサービスを展開してまいりました。今回の経路拡充により、以下の通り事業領域が拡大いたします。

- 需要家への直接・間接アプローチが可能に
 - 2026年2月に発表しました法人向け「エネマネ診断レポート」を、契約中の小売電気事業者を経由することに加え、現在の契約先を問わず、全国のあらゆる法人需要家へ提供可能となります。
- 「NILM Lite」の提供スピード向上
 - 家庭向けサービスにおいても、小売電気事業者のシステム連携を待たずにデータ活用が可能となるため、より迅速なサービス展開が実現します。
- パートナーシップの多様化
 - 小売電気事業者に限定せず、多様な事業者が当社の電力データ解析を活用した新サービスを開発できるようになり、エネルギーDXの裾野が広がります。

■ 今後の展望: エネルギーデータ分析のプラットフォーマーとして

当社は、「電力消費データを最大限活用するDXパートナー」としてのポジションを確立してまいります。今後は、電力データと、それを補完・価値拡張する各種外部データを組み合わせた複合的な分析ソリューションの開発を進めます。多角的なデータ解析により、単なるコスト削減を超えた新たなビジネス価値を創出し、企業の持続可能な成長を支援してまいります。

■ インフォメティス株式会社について

インフォメティスは「エネルギーデータのパワーで、暮らしの未来を変えていく。」をミッションに、[エネルギー × AI]をコア技術としたエネルギー最適化ソリューションを提供しています。

- **所在地:** 東京都港区芝大門1-12-16 住友芝大門ビル2号館
- **代表者:** 代表取締役社長 只野 太郎
- **上場市場:** 東証グロース市場 (証券コード281A)
- **URL:** <https://www.informetis.com/>